

№181号 ふくし一里塚



学区の現状 2月1日現在
 65歳～74歳 人口2,349人
 75歳以上 人口2,220人
 高齢化率 16.77% (市 22.14%)
 発行：守山学区社会福祉協議会

児童問題研修会開催



2月10日(木)、学区社協児童福祉部会が、まちづくり推進会議青少年健全育成部会と共催で、村田和哉さんをお迎えして、「村田和哉の夢の叶え方～人生最幸への道～」と題し児童問題研修会を開催しました。

ご自身がプロサッカー選手という子供の頃からの夢を実現し、現在も地元で子ども達のために夢授業やサッカー教室などの活動をされているお話、また滋賀にJリーグチームをという自らの夢を語っていただきました。

最後に大人も夢を持ち、その背中を見て成長していく子ども達を地域で支え、応援していきましょう！と前向きな気持ちになった研修会となりました。

寒い中、感染対策にご協力いただきありがとうございました。

守山学区社会福祉協議会では、各部会を開催し今年度の事業報告、また各自治会での活動状況、来年度の予定等を話し合いました。総務部会では、学区地域福祉活動の評価・点検などについても協議いただきました。

理事・評議員の皆さまには、後日書面にて報告させていただきます。

今年度も事業の開催が難しい状況でしたが、皆さまのご協力のもと無事に終える事が出来ました。ありがとうございました。

コロナ禍の「豆っこくらぶ」大鳥自治会

私達が今まで経験したことのない『コロナ』という得体の知れない感染症が始まり2年が過ぎました。

この間、多人数での集会や行動も制限され、自治会活動もできない状態となり、今はオミクロン株の感染者数に驚くばかりの毎日です。

そのような中、大鳥自治会では8年前から始まった子育て支援『豆っこくらぶ』を感染が収まっていた間に開催しました。

絵本の読み聞かせ、親子ダンス、公園でゲームをしたりしました。

クリスマスでは、サンタさんの登場とミニコンサートで久々に子ども達の明るい声を聞くことができました。

また、今年度から特定の日自治会館を開放して、『ミニ豆さん』を開き、お母さん達の情報交換の場となっています。



焰魔堂自治会

昭和 50 年から住民交流の場として「大運動会」が始まり、平成4年からは「えんまどうふれあい広場」として毎年開催されています。令和3年も開催予定でしたが、新型コロナウイルス感染拡大のため、初の中止となりました。焰魔堂も新しい住宅、住民が増え、現在も新規大規模宅地造成中で人口の増加が見込まれます。

子育て世代が増えていくなか、旧住民と新規住民、新規住民同士などのつながりを持つ場がますます重要となります。



令和4年度にはえんまどうふれあい広場が30回目を迎えることもあり、盛大に開催できることを祈念しています。また、子供神輿を新調しましたので、5月には、子供たちの元気な笑顔が見られるよう願っています。